

ヘブル語のアラカルト

モーセの名の由来

No. 2

ヘブル語のアラカルト

ユダヤ人たちは、「**私たちはモーセの弟子だ**」
(ヨハネ9:18)と言いました。イエシュアは、
「**もしも、あなたがたがモーセを信じているのなら、
わたしを信じたはずです。モーセが書いたのは
わたしのことなのですから。**」(ヨハネ5:46)
と述べています。

ヘブル語のアラカルト

【新改訳2017】出エジプト記2章1～10節

- 1 さて、レビの家のある人がレビ人の娘を妻に迎えた。
- 2 彼女は身ごもって男の子を産み、その子がかわいいのを見て、三か月間その子を隠しておいた。
- 3 しかし、それ以上隠しきれなくなり、その子のためにパピルスのかごを取り、それに瀝青と樹脂を塗って、その子の中に入れ、ナイル川の岸の葦の茂みの中に置いた。
- 4 その子の姉は、その子がどうなるかと思って、離れたところに立っていた。
- 5 すると、ファラオの娘が水浴びをしようとナイルに下りて来た。侍女たちはナイルの川辺を歩いていた。彼女は葦の茂みの中にそのかごがあるのを見つけ、召使いの女を遣わして取って来させた。
- 6 それを開けて、見ると、子どもがいた。なんと、それは男の子で、泣いていた。彼女はその子をかわいそうに思い、言った。「これはヘブル人の子どもです。」
- 7 その子の姉はファラオの娘に言った。「私が行って、あなた様にヘブル人の中から乳母を一人呼んで参りましょうか。あなた様に代わって、その子に乳を飲ませるために。」
- 8 ファラオの娘が「行って来ておくれ」と言ったので、少女は行き、その子の母を呼んで来た。
- 9 ファラオの娘は母親に言った。「この子を連れて行き、私に代わって乳を飲ませてください。私が賃金を払いましょう。」それで彼女はその子を引き取って、乳を飲ませた。
- 10 その子が大きくなったとき、母はその子をファラオの娘のもとに連れて行き、その子は王女の息子になった。
王女はその子をモーセと名づけた。彼女は「水の中から、私がこの子を引き出したから」と言った。

モーセの名の由来

※ 「モーセ」 (מֹשֶׁה) の名 (正しい読みは「モーシエ」) の由来は、「**水の中から、私がこの子を引き出したから**」とあります。

メシーティフー ハツマイム ミン キー

כִּי מִן־הַמַּיִם מְשִׁיתֵהוּ

(単1完パ) 私が彼を引き出した 水の中から なぜなら

「マーシャー」(הַשָּׂרָף)

- 「引き出す」を意味する「マーシャー」(הַשָּׂרָף)。出エジプト記2章10節では、1人称単数で使われています。主体が神である場合にはヒフィル態で用いられ、その意味は「引き上げる」です。Ⅱサムエル22:17, 詩篇18:6。そこでは、「主は、高い所から御手を伸ばして私を捕らえ、大水から、私を引き上げられました。」とあります。「大水」は神に敵対する勢力を表します。「水、大水、海」は、いずれも「神に敵対する勢力の象徴」なのです。

● 「大水から」(「ミンマイム・ラビーム」
מִיַּבַּיִת מִיַּמַּיִם)は、二つの意味が考えられます。

① 神に敵対する勢力の象徴。例;詩篇69:2, 14

② 敵(罪と悪)を滅ばす神の力の象徴。

例;創世記6:17

●**モーセ**は確かにナイル川の水から引き上げられました。神に敵対する勢力であるエジプトからイスラエルの民を**引き上げる**ために、神に用いられた神のしもべです。

●彼をモーセと名づけたのはファラオの娘ですが、神は敵対する勢力の者さえも用いて、神のみわざをなし遂げられる方です。

●「マーシャール」(מִשְׁאָר)は救出用語です。

●終わりの日に、キリストはイスラエルの残りの者を、獣と呼ばれる反キリストによる未曾有の苦難から救い出すために再臨されます。そして、反キリストの軍勢を滅ぼされるのです。

モーセは、キリストの型

●**救出用語**は、「マーシャー」(הַשָּׂרָה)以外にも、以下のように数多くあります。

- ① 「救う」「ヤーシャ」(יָשַׁוּ)
- ② 「助ける」「アーザル」(רָצַו)
- ③ 「逃がす」「マーラト」(וּלָחַט)
- ④ 「救い出す」「ナーツアル」(לָצַו)。
- ⑤ 「助け出す」「ハーラツ」(יָצַח)。
- ⑥ 「解き放つ」「パーラト」(וּלָחַט)

①②③は、「**敵による危険からの救出**」であるのに対して、④⑤⑥は、「**すでに敵の手中にある状態からの救出**」という意味で用いられています。同じ救出用語でもニュアンスが異なります。